

統合医療施設

医師との連携で、サプリメントの
摂取方法をアドバイス

ビオセラクリニック.Nathera[ナセラ](東京都新宿区)



東京女子医科大学の関連施設、ビオセラクリニックは、リンパ球移入療法や樹状細胞療法などの、がん免疫療法を行う専門クリニック。この2階に自然療法部門のナセラがある。ナセラとは、ナチュラルセラピー（自然療法）の略語で、この部門では人間が本来持つ自然治癒力（ホメオスターシス）を引き出すために、食事・運動・睡眠のバランスを整え、患者の体質、病態に合わせたサプリメントやハーブ、アロマなどを取り入れている。

昨年5月に開設されてから約一年。利用する患者の6割が、がん患者で、4割が予防医学や健康増進目的の患者。登録する顧客数は200名を超えた。ナセラは、完全予約制をとっているため、患者や家族とのカウンセリングを充実させている。

最近では、治療を補助するため、医薬品の副作用を軽減させるため、などの理由からハーブやサプリメントを臨床応用することに理解を示す医師が増えているが、摂取指導するほどの専門知識をもった医師は、まだごく一部に過ぎない。ナセラのアドバイザー、酒井美佐子さん（薬剤部長）は、東邦大学医療センター佐倉病院で、病棟臨床薬剤師の経験を持つ一方で、カナダアルバータ州立大学元教授が監修するメディカルサプリメントアドバイザーの資格を持つ、医薬品とサプリメントに精通した専門家である。さらには、日本人間ドック学会認定食生活改善指導士、日本メディカルハーブ協会認定ハーバルセラピスト、THP心理相談員の資格も持つ。

●カルテを作成し、自覚症状等の変化をチェック

酒井さんは、医師と連携しながら経過観察を行い、摂取評価ができる知識と経験をもっているため、医師と患者の双方からの信頼が厚い。ナセラでは、患者の治療スケジュールを把握したうえで、サプリメントの選び方、副作用についてチェックし、アドバイスする。また、患者の食事内容やサプリメントの摂取歴を記録するカルテ「ヘルスヒストリーフォーム」を作成し、摂取前後の自覚症状や検査値の変化などをチェックしている。

サプリメントを選ぶ際には、処方されている医薬品との相互作用にも十分、注意をはらう。例えば、がん患者が摂取する機会が多いサプリメントの一つに、緑茶の抽出物（グリーンティーエキストラ）が入った製品があるが、このサプリメントを、多発性骨髄腫の抗がん剤、ボルテゾミブ（商品名：ベルケイド）と併用すると、ボルテゾミブの効果が減弱してしまうことが、海外から報告されている。酒井さんは、こうした国内外の最新論文をチェックしながら、安心して利用できる最適なサプリメントを選択する。

食事指導やサプリメントをアドバイスするのは、患者ばかりではない。付き添う家族にも情報を提供する。

「がんは家族ぐるみでお付き合いしなければならない疾患です。患者はもちろん、ご家族も食事の内容やストレス緩和の仕方、化学療法の副作用を防ぐ方法を知ってもらうことが大事です」（酒井さん）。

患者や家族からは、「薬との相互作用が聞いてよかった」「今までサプリメントについて明確に答えてくれる医療従事者がいなかったので安心した」といった声が寄せられている。

バイオセラクリニックで免疫治療を受けながら、ナセラで食事やサプリメントのアドバイスを受けるというサポートシステムが評判を呼び、今では地域住民ばかりではなく、地方からも患者が集まるようになった。ナセラでのカウンセリングは、電話やメールでも応じているので、患者は自宅や職場からでも気軽に相談できるという。

■バイオセラクリニック・Nathera(ナセラ)

〒162-0055 東京都新宿区余丁町 14-4

TEL : 03-5919-1762 FAX : 03-5919-1702

<http://www.bio-c.jp>

ブログ : <http://blog.e-msa.co.jp/blog/supli/>